

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公表番号】特表 2004-534769 (P2004-534769A)

【公表日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報 2004-045

【出願番号】特願 2002-591006 (P2002-591006)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 K 31/712

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 31/14

C 0 7 H 19/067

C 0 7 H 19/10

C 0 7 H 19/167

【F I】

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 K 31/712

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 31/14

C 0 7 H 19/067

C 0 7 H 19/10

C 0 7 H 19/167

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 7 日 (2004.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

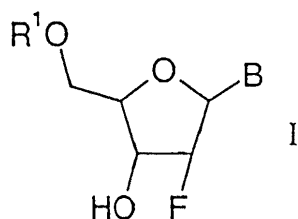
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I :

【化 1】

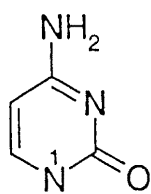


(式中、

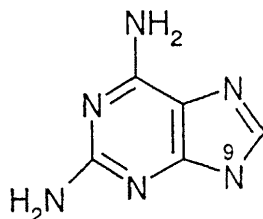
R<sup>1</sup> は、水素またはホスフェートであり、

B は、式 B 1、B 2 または B 3 :

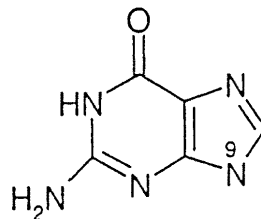
## 【化 2】



B1



B2



B3

で示される 1 - ピリミジニルまたは 9 - プリニル残基を示す)

で示される化合物および薬学的に許容し得るその塩の、C 型肝炎ウイルス (HCV) が媒介する疾患の処置のための、またはそのような処置のための医薬の製造のための使用。

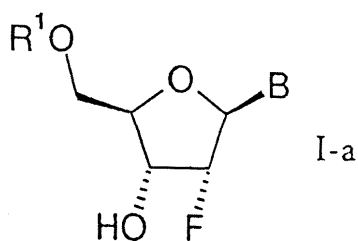
## 【請求項 2】

化合物が、 - D または - L リボフラノシドおよび薬学的に許容し得るその塩である、請求項 1 記載の化合物の使用。

## 【請求項 3】

式 I - a :

## 【化 3】



(式中、

$R^1$  および B は、請求項 1 に定義したとおりである)

で示される請求項 1 または 2 記載の化合物および薬学的に許容し得るその塩の使用。

## 【請求項 4】

$R^1$  が、上記定義のとおりであり、B が、1 - ピリミジニルを示す、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の、式 I または I - a の化合物、および薬学的に許容し得るその塩の使用。

## 【請求項 5】

化合物が、

2 - デオキシ - 2 - フルオロシチジン、

9 - (2 - デオキシ - 2 - フルオロ - - D - リボフラノシル) - 2 , 6 - ジアミノプリン、

2 - デオキシ - 2 - フルオログアノシン、または

2 - デオキシ - 2 - フルオロシチジン 5 - O - トリホスフェートモノリチウム塩である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の式 I または I - a の化合物の使用。

## 【請求項 6】

C 型肝炎ウイルス (HCV) が媒介する疾患の処置のための、またはそのような処置のための医薬の製造のための、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の化合物または薬学的に許容し得るその塩。

## 【請求項 7】

C 型肝炎ウイルス (HCV) が媒介する疾患の処置のための、またはそのような処置のための医薬の製造のための、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の、式 I もしくは I - a の

化合物または薬学的に許容し得るその塩の薬学的に効果的な量に基づく、医薬組成物。

【請求項 8】

C 型肝炎ウイルス (HCV) が媒介する疾患の処置のための、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の、式 I もしくは I - a の化合物または薬学的に許容し得るその塩の薬学的に効果的な量に基づく医薬組成物の使用。